

第2次産業振興ビジョン素案 第1回推進会議後の変更点

- ・第1回産業振興推進会議委員意見を反映
- ・庁内意見照会結果をふまえ、表現の統一など言い回しや、てにをはなどの微修正

頁	変更後	旧
3	なお、佐倉市観光グランドデザインについては、令和6年3月に更新を行いました。	新規追加
3	(指標実績値)令和2年度～6年度の5年間の数値に修正	令和元年度～6年度の6年間の数値
7	<p>地域経済の自立度を示す「地域経済循環率」は、第2次ビジョン策定時に参照した平成25(2013)年の77.3%(*)に対して、直近データである平成30(2018)年では77.9%にやや改善しました。微増ではありますが、千葉県及び周辺自治体ではやや減少傾向にある中で、佐倉市の数値は改善し、千葉県との差が縮小しています。この要因については、観光も含めた市内消費の増加、工業生産額の増加、高齢化による域外からの所得流入の減少など、様々に考えられます。今後も、地域経済循環率の向上に向けて、市内産業の育成・強化に取り組む必要があります。</p> <p>*第2次産業振興ビジョン策定時(令和2年)に参照した平成25(2013)年の佐倉市の地域経済循環率は70.5%と公表されていましたが、RESAS内のデータの更新により、修正されています。</p>	<p>地域経済の自立度を示す「地域経済循環率」は、第2次ビジョン策定時に参照した平成25(2013)年では70.5%でしたが、直近データである平成30(2018)年では77.9%に改善し、千葉県との差も大きく縮まる結果となりました。この要因については、市内消費の増加、工業生産額の増加、高齢化による域外からの所得流入の減少など、様々に考えられます。今後も、地域経済循環率の向上に向けて、市内産業の育成・強化に取り組む必要があります。</p>
8	(表)2013年の数値をRESAS更新後の数値に	2013年の数値はRESAS更新前・更新後の数値を併記
14	<p>(推進会議や事業所アンケート、商工会議所意見交換等での意見)</p> <p>パソコンで買い物ができる時代だが、若者も対面での販売に憧れを抱いていることもわかった。先々の変化に際して、商店街の在り方を産官学連携の視点で考えていく必要がある。</p>	新規追加
15	<p>(推進会議や事業所アンケート、商工会議所意見交換等での意見)</p> <p>・デジタル化の状況把握については、個別具体的な内容に落とし込んで、実態を把握する必要がある。</p>	新規追加
17	<p>(推進会議や事業所アンケート、商工会議所意見交換等での意見)</p> <p>・事業所数の減少する中でも、知的財産保有による収益確保、特許を活かした戦略の立て方が重要。</p>	新規追加
25	<p>○市内の農・商・工業・福祉事業に従事する事業者が集まる佐倉・産業大博覧会での出展や販売を通して、ファミリー層を中心に市内事業者の周知を図ります。また、将来的な市内企業への就業につなげるため、低年齢層の体験機会の提供や近隣の高校生・大学生へのPRのあり方などを含め、産業大博覧会の効果的な開催方法について検討します。</p>	○産業大博覧会への出展や販売を通して、ファミリー層を中心に、市内事業者のPRを行うとともに、近隣の高等学校や大学等の学生・進路指導担当教諭の来場を促進します。
26	<p>○人的基盤の強化、地方経営(移住・定住の促進等)等の観点から、アスリートなど知名度と実績のある人材の雇用や企業経営への活用について調査研究します。</p>	新規追加
29	<p>○知的財産に関する外部機関とも連携しながら、特許権や商標権などの知的財産権を活かして、地域ブランドの競争力も含め、市内事業者の競争力強化につなげる戦略的な取組を支援します。</p>	○特許権や商標権などの知的財産権を活かして、市内事業者の競争力強化につなげる取組を支援します。

頁	変更後	旧
29	○県、商工会議所と連携して、IoT・AI・DXなどの先進的な情報技術を活かした経営力強化に繋げるため、啓発から技術習得、事業所での活用までを目指すセミナーの開催や相談、専門家派遣等を行います。	○県、商工会議所と連携して、IoT・AIに関する啓発から技術習得、事業所での活用までを目指すセミナーの開催や相談、専門家派遣等を行います。
32	○商工会議所の創業専門相談窓口「mebucさくら」や千葉県よろず支援拠点、県、金融機関等と連携し、創業者のステップに合わせた相談に対応、フォローアップをするとともに、各相談機関にアクセスしやすくなるよう、情報提供を行います。	○商工会議所の創業専門相談窓口「mebucさくら」や千葉県よろず支援拠点、県、金融機関等と連携し、創業者のステップに合わせた相談に対応します。
33	○佐倉インターチェンジ周辺等の産業適地において、市街化調整区域の規制緩和を通じて土地利用を誘導し、企業の新たな産業用地化を支援します。	○佐倉インターチェンジ周辺等、市街化調整区域内の産業適地における土地利用について、指定条例による許可など、活用に向けた取組を進めます。
33	○千葉県土地開発公社により進められている、大作西地区の産業用地整備事業について、県とも連携して開発事業を支援します。	○千葉県土地開発公社により進められている、 <u>神門地区</u> の産業用地整備事業について、県とも連携して開発事業を支援します。
34	○中小企業が抱える経営課題に関する様々な相談等に対応している商工会議所の中小企業相談所や、千葉県よろず支援拠点等を市内事業者にも周知し、積極的な活用を促します。	○中小企業等の経営改善、税務、広報等、企業が抱える経営課題に関する様々な相談等に対応している商工会議所の中小企業相談所や、千葉県よろず支援拠点等を市内事業者にも周知し、積極的な活用を促します。
35	○工業団地連絡協議会等との情報交換を通じ、施設管理者による老朽化した道路・排水施設の更新や安全の確保に努めるほか、交通環境に係るニーズを把握し、渋滞解消に向けた取組について、県、警察等とも連携を図り改善に努めます。	○工業団地連絡協議会等との情報交換を通じて、道路・排水施設や交通環境に係るニーズを把握し、施設管理者によるインフラ補修や、渋滞解消に向けた取組について、県、警察等と連携を図り改善に努めます。
35	○店舗兼住宅の空き店舗について、商店街の連続性確保のため、創業者の利用に向けた方策を検討します。	新規追加
35	○移動が困難な方等にも商店街を利用いただけるよう、市のコミュニティバスや各交通事業者の運行ルート選定時に、買い物等の生活要素への配慮について要請するとともに、買い物に来てもらえるような商店街の魅力を高める取組を支援します。	新規追加
35	○若者の意見を参考にするなど、産官学などの視点から、商店街活性化について研究します。	新規追加
37	○脱炭素社会の実現や有機農業の推進に寄与する等、SDGsや環境負荷低減に対応した付加価値の高い農産物の生産を支援するとともに、佐倉オリジナルの認証制度等によるブランド化を検討します。	○脱炭素社会の実現や有機農業の推進に寄与する等、SDGsや環境負荷低減に対応した付加価値の高い農産物の生産を支援します。
38	○地域計画の協議の場等を通じて、将来の担い手の確保や農地利用等、各地域の課題に係る話し合いを進めるとともに、地域計画の実現に向けた取組を支援します。	○地域計画の協議の場等を通じて、地域の担い手をどうするのか等、地域の話し合いを支援します。
42	※現在「佐倉市デジタル田園都市構想総合戦略」に移行し、令和6年度からは第5次佐倉市総合計画中期基本計画内に位置づけ。の※注釈を追加	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略のKPIで評価（→R6基本計画改定に伴い、新指標に移行）。